

ありのままのわたし

小学校5・6年生

I アクティビティーについて

ねらい

自分の失敗や過ちについて保護者に叱られた経験などを話し合う学習活動を通して、自分を過小評価せず、失敗を重ねながらも成長している愛すべき存在として肯定的にとらえる姿勢や自己尊重の感情をはぐくむ。

◆◆◆視点◆◆◆

- ◎自己尊重の感情
- 共感と連帯感
- コミュニケーション能力
- 参加・参画

設定の理由

この発達段階の児童は、自信が持てず、ものごとを簡単にあきらめたり、「どうせ自分なんか」などと投げやりになったりする傾向がみられる。

そこで、自分たちの失敗談を小グループの中で互いに語り合い、皆同じような失敗をしていることに安心するとともに、自分をもう一度見直すことによって、ありのままの自分を素直に、肯定的に受けとめさせることで、自己尊重の感情をはぐくみたい。

アクティビティーの概要 (2時間扱い)

活動1 じゃんけんぽんシートで質問を行う。 1時間

- ・シートの設問に自分の回答を事前書き込む。
- ・じゃんけんぽんで勝った人は自分のシートを負けた人に見せる。
- ・負けた人は勝った人のシートの回答が同じかを確認し、同じであれば回答のマスの下に○つける。



活動2 私の体験シートで失敗談を話す。 1時間

- ・保護者に叱られた失敗談をシートに書き込む。
- ・自分の失敗を話す。
- ・グループ内で互いに良かった点、悪かった点を書き込む。
- ・互いの失敗談を通してありのままの自分の大切さを考える。

活動3 活動をふり返る。

アクティビティの実際

- 準備するもの
 - 「じゃんけんぽんシート」(人数分)
 - 「私の体験シート」(人数分)

□ アクティビティの進め方

活動1 じゃんけんぽんシート

- ① 各自「じゃんけんぽんシート」の9つのマスの中段に、質問に対する自分なりの回答を記入する。
- ② 教員の合図で、自分のシートと鉛筆を持って教室内を巡回し、出会った人とじゃんけんぽんをする。勝った人が自分のシートを負けた人に見せる。
- ③ 負けた人は、勝った人のシートの9つのマスを見て、自分の回答と同じか、それに近い回答が書いてあるマスを1つ選んで、そのマスの下段に○印をつける。その際、その内容についてお互いに一言ことばを交わす。
(例) この歌手の最近のCDを聴いた？
- ④ 5分で終了とする。

活動2 私の体験シート

- ① クラスを8グループ(1グループ5人以内で構成)に分ける。
※話しやすいグループ構成とする。
- ② 各自「私の体験シート」の真ん中の四角のマスの中に、保護者に叱られた自分の失敗談について箇条書きで記入する。いつ、どこで、何をして、どうなったかなどを簡潔に記入する。5分以内。
※宿題としてもよい。簡単なメモ程度でよい。
- ③ 各自が記入した失敗談について、友だちにどんなふうに聞いてもらいたいのか、話し合わせる。
- ④ 教員の合図で、順に自分の体験を3分以内で話す。その際、話す人が話しやすいように、聴く人は以下のルールを守る。
 - ・うなずきながら「傾聴」する。
 - ・相手の話を笑わない。
 - ・話しやすい雰囲気をつくる。
- ⑤ グループ内の全員が話し終わったら、グループ内でシートを交換して、仲間のシートの4つの「フォローアップ」欄のどれか1つに励ましのことばやよかった点を記入する。全員がお互いにシートに1つだけフォローアップとなるようなコメントを書く。3分以内。

- ⑥ グループ内の全ての人から「フォローアップ」欄に記入してもらったら、各自それを読む。

活動3 ふり返り

- ① シートの「ふり返り」欄に記入し、各自それを読む。3分以内。
② 教師は、机間指導をしながら、クラスの中で紹介したい数名の児童の「ふり返り」の文を収集する。

<ふり返りの留意点と発問例>

- 自分の叱られた体験を友だちが聴いてくれたときは、どんな気持ちでしたかを思い出させる。

発問例

自分の体験を話すときの気持ちはどんなでしたか。

- 友だちの体験を聴いたとき、気づいたことを話し合う。

発問例

友だちの体験を聴いて、気づいたことはありますか。

- 今日の活動で、感じたことや考えたことを「わたしの体験シート」のふり返りにまとめさせる。

発問例

今日の授業で、感じたことやわかったことはどんなことですか。

アクティビティを指導するポイント

- ◇ 児童同士が互いにうち解け合えるよう指導する。
- ◇ 各自の失敗談に入る前に、担任の失敗談を例示し、それを基にクラス内で互いに話し合える環境づくりに取り組む。

Ⅱ 授業展開例

～小学校5・6学年「学級活動」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教師の働きかけ
1	<div data-bbox="280 450 1366 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「じゃんけんぽん」シートを使って遊ぼう。</div> <p>1 じゃんけんぽんシートを使って遊ぶ。</p> <p>2 教師のエピソードをよく聴く。</p> <p>3 グループに分かれて、教師のエピソードを話題にして自由に話す。</p> <p>4 自分の体験を「わたしの体験」シートに5分以内で簡単にまとめる。</p> <p>5 自分の体験を友だちにどんなふうに聴いてもらいたいか、話し合う。</p>	<p>○児童が活動しやすい学級の雰囲気づくりを行う。</p> <p>○子どもの頃、自分の両親や祖父母から叱られた体験について、教師自らが自分のエピソードを語る。</p> <p>○グルーピングを行う。3、4人で1グループをつくる。</p> <p>○教師のエピソードについて、グループ内で自由に感想を述べさせる。</p> <p>○「わたしの体験」シートを配布し、真ん中の枠内に、自分の叱られた体験について5分以内で箇条書きにまとめさせる。（事前に宿題として配布した場合は、それを回収する）。</p>
	<div data-bbox="272 1570 1370 1659" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自 分 の 体 験 談 を 語 ろ う 。</div>	<p>○グループ内で順番に自分の体験を語らせる。その際、発表者が話しやすいように約束事項を守らせる。</p> <p>【約束事項】①発表者の話を傾聴する。 ②発表者の話を笑わない。 ③発表者が話しやすい雰囲気をつくる。</p>

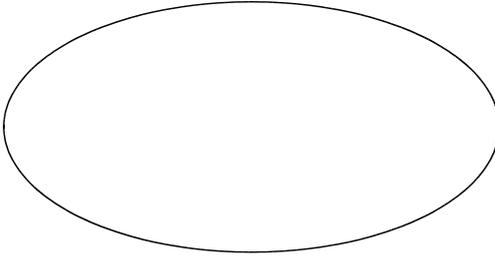
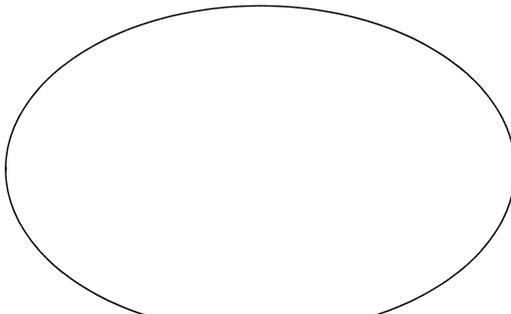
1	<p>6 「わたしの体験」シート の「フォローアップ」 欄に相手を励ます言葉な どを記入する。</p> <p>7 「フォローアップ」欄 を読む。</p> <p>8 先生や友だちの話を聞 いてどう思ったかを「わ たしの体験」シートの「ふ り返り」欄に簡単にまと める。</p> <p>9 「ふり返り」欄に記入 した内容を2～3人の児 童が発表する。</p>	<p>○グループ内のメンバー全員の話が終わっ たら、「わたしの体験」シートをお互い に交換して、「フォローアップ」欄に記 入させる。</p> <p>○「フォローアップ」欄を読ませる。</p> <p>○先生や友人の体験談を聞いて、自分の心 の中にどんな変化が起きたか、または、 自分自身や友だちをどう見られるよう になったか、「わたしの体験」シートの「ふ り返り」欄に5分以内でまとめさせる。</p> <p>○2～3人に「ふり返り」欄の記述内容を 発表させる。</p>
---	---	---

Ⅲ 資料

(1) じゃんけんぽんシート

「じゃんけんぽんシート」		
名前()		
①好きなタレントは？	②好きなテレビ番組は？	③好きな漫画は？
自分の回答をここに	自分の回答をここに	自分の回答をここに
同じなら○をつける	同じなら○をつける	同じなら○をつける
④苦手な教科は？	⑤飼っているペットは？	⑥今一番ほしいものは？
自分の回答をここに	自分の回答をここに	自分の回答をここに
同じなら○をつける	同じなら○をつける	同じなら○をつける
⑦将来の夢は？	⑧好きな本は？	⑨好きな食べ物は？
自分の回答をここに	自分の回答をここに	自分の回答をここに
同じなら○をつける	同じなら○をつける	同じなら○をつける

(2) わたしの体験シート

わたしの体験シート		名前()	
「仲間のフォローアップ」欄			
			
「仲間のフォローアップ」欄	【わたしの体験】		「仲間のフォローアップ」欄
	(いつ)		
	(どこで)		
	(何を)		
	(どのように)		
	(どうなった)		
「仲間のフォローアップ」欄			
			
「ふり返り」欄			
			

(3) 教師のエピソード例

教師のエピソードの例

小学生の夏休みに、自転車でどれくらい遠くまで行けるか、なんとなく試してみたくなって、親に内緒で朝から一人で出かけた。知らない町をどんどん通りすぎて、何時間も自転車をこぎ続け、途中、お腹がすくと、持っていた小遣いでパンやジュースを買って食べ、なおも走り続けた。にぎやかな通りに入ったり、静かな川沿いを走ったりしたが、やがて、気がつくとも夕暮れ時になっていた。自転車で出かけたまではよかったが、どこをどうに通ってきたか、さっぱり覚えていなくて、自分で帰り道がわからなくなってしまった。道ばたで泣いていたら、大人の人がたまたま通りかかって、近所の交番まで送ってくれた。おまわりさんが家に電話をしてくれ、やがて父親が血相を変えて迎えにきて、こっぴどく怒られた。夕方になっても、私が帰宅しないので、家中で大騒ぎをしているところに、交番からの電話だったので、大急ぎでかけつけたとのこと。あんなに怒られたことはなかった。あれからは、遊びに行くときは必ず、どこに行くかを家族に話してから出かけるようにしたが、あのときは、夢中だったので、そこまで気が回らなかった。しばらくは自転車を取り上げられてしまい、不自由な思いをした。